

里山・檀林地域の問題点の整理と方向性

現状

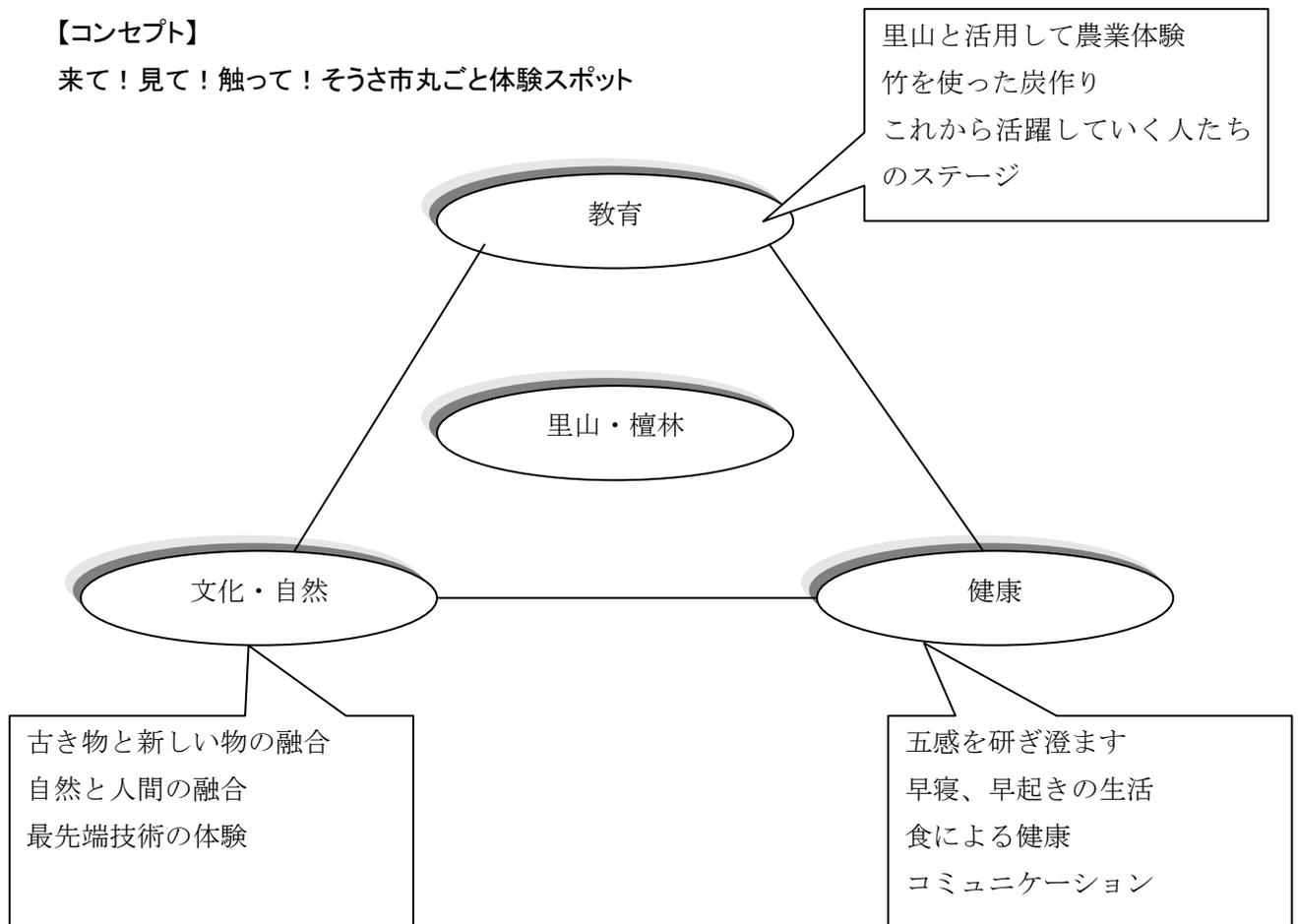
- ・ 活用しきれない田んぼや畑などがある。また、山は雑草が生え管理が困難
- ・ 空き家が多くなってきている
- ・ 萱森さんのような活性化させたいといった人がいても協力者が少ない など・・・

目標や希望

- ・ 大前提として地域の方々の生活を守りたい(仕事になるようなものが欲しい)。
- ・ 里山・檀林を活用し、匝瑳市のことをもっと知っていただきたい。
- ・ 自然を体験できるアクティビティスポットにしたい。

【コンセプト】

来て！見て！触って！そうさ市丸ごと体験スポット



- ・ このコンセプトに共感してくれた匝瑳市地域の人たちを巻き込んで活動を行っていく。
- ・ キzzaニアのように企業、農家、大学などが各々の力を使ってお客様に楽しんでいただく。

今回はお客様目線で考えてみましょう！

エコツーリズムは現在どこにでもありますが、他とどのように違いますか？

→市内の資源が循環しているという仕組み

この場所に何回でも行きたくありませんか？

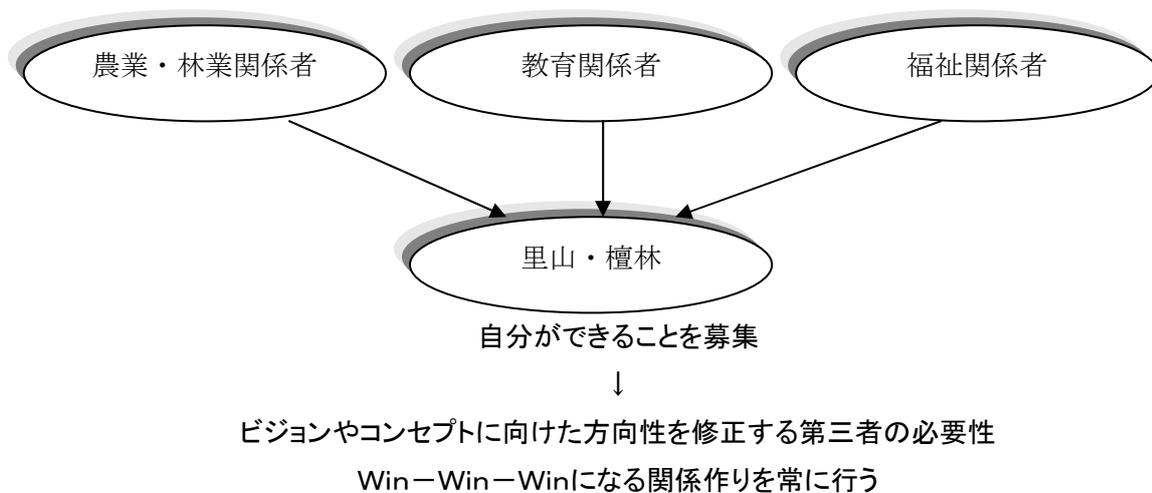
→広報の方法を検討する必要あり。お客様が買う手伝いをどのように進めていくかが課題

どのターゲットに対してどんなサービス提供をしていきますか？もしくは、どんなサービスだったら受けたいですか？

→地元の食材を自分で選んでその場で調理する。

→バイクに乗る方、キャンプをする方、親子、各地域に存在する歩こう会の方々などが対象

→自分たちが楽しいと思えるものでなければ売り込めない。



【以前の失敗事例】

野栄方面の農業体験の組織を設立したが、経営者の考えの方向性がバラバラになってしまい、長期的な継続ができなくなってしまった。

現状と希望のギャップ

穴埋めする為に 環境・行動・知識 のどこにアプローチを行っていくか？

ビジョンやコンセプトへ方向修正をしてくれる人物もしくは組織が必要

→ コーチングやマーケティングができる人材の人選(ファシリテーター)

具体的行動課題

市とファシリテーターによるチームを作る

再度、このような事業を行いたいかの意志を確認し、意志があればそれに向けた TO Do リストを作成しこなしていく。